

## 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

### ■ 開催判断の基準と人数制限

#### ● 緊急事態宣言

宣言期間中

特定警戒都道府県の対象となった場合は開催中止とする。

宣言期間外

東京都イベント開催の目安等指針に沿って判断する。

#### ● 感染予防

感染予防対策

主催者が開催都道府県、市町村、イベント独自の開催基準に満たないと判断した場合は開催を中止とする。

#### ● 来場人数の制限

1日当たりのイベント参加者（大会出場選手、競技団体関係者、イベントスタッフ、体験会参加者）数制限を5,000人とする。

なお、体験会参加者の管理はリストバンドの配布によって行う。

### ■ スタッフ管理

#### ● 衛生管理の徹底

- ・マスクの徹底着用
- ・3密回避の実施
- ・衛生管理の徹底（手洗い、手指消毒、うがい等）
- ・参加する業務1週間の健康観察（体温、咳、倦怠感、他）報告

#### ● 報告義務

- ・体調に不調を感じた場合に管理者への報告をする
- ・新型コロナウイルス感染の疑いがある場合は、関係スタッフとの接触について管理者に報告する

#### ● 新型コロナウイルス陽性の疑いがある場合の対応

- ・37.5度以上の体温が計測される、または感染が疑われる症状がある場合は出勤を禁止する
- ・病院、医師、保健所等の判断に従い、療養に努める
- ・陰性が証明されるまで、関係スタッフとの接触を禁止する
- ・陽性者との濃厚接触が認められた関係スタッフは陰性が証明されるか、接触後1週間経過するまで出勤を禁止する

## ■ 会議

### ● オンライン会議の推奨

- ・実行委員会等、会議を実施の際は出来る限りオンライン会議を推奨する。

### ● 集合して会議を行う場合

- ・ハイブリット形式を採用し、オンラインでの参加ができる環境を整える。
  - ・ソーシャルディスタンスを確保する。
  - ・机を向かい合わせる場合は、机の距離を最低1.0m以上(2.0m以上が望ましい)  
または向かい合わせた机の間にアクリル板等の遮蔽物を設置する。
  - ・正面に人が座らないようにする
  - ・会議をスクール形式で行う場合は、前後左右に人が座らないようする。
  - ・入退室時に手指消毒を行う。
  - ・マスクを着用する。
  - ・電子データでの事前配布を推奨する。
  - ・1回の会議時間を最長90分とし、極力短時間で終了する。
- ※集合しての会議回数をキックオフ会議、開催直前会議の2回程度に極力留める。

## ■ 現地調査

### ● 人員体制

- ・人員を最小限にし、オンラインでの参加や画像、映像等での記録を行い、現地の状況を共有できるようにする。

### ● 参加者の心得

- ・人との距離を最低1.0m以上(2.0m以上が望ましい)確保する。
- ・マスクを着用する。
- ・車での移動時、乗車人数を減らし、極力前後の席を空け、十分に換気をしながら乗車する。
- ・むやみに物に触れない。
- ・集合時、解散時に手指消毒を行う。
- ・除菌剤の携帯を推奨する。

## ■ イベント準備

### ● スタッフ受入れ

- ・会場に立ち入る前ゲートを設け検温を行う。  
37.5度以上の体温を計測した場合には別途体温計で温度測定を行う。  
陽性が疑われる場合は看護師、保健所等の指示により隔離、帰宅、通院等の措置を実施する。
- ・受付スタッフはマスクを装着する。
- ・受付時に健康状態のチェック(問診等)を行う。  
(チェック項目：前1週間の体温変化、感染者との接触有無、体調等)

### ● 服装等

- ・マスクを着用する。
- ・夏場はマスク着用による熱中症に注意した用意(水分補給等)をする。

## ■ 備品管理

### ● 使用者の制限

- ・個人に支給する物品は誰の使用物か分かるよう名前の記載をしたり目印を付ける。
- ・数量が確保できない場合は使用者を限定し最低限の人数で使用する。  
使用後は使用者が消毒を行う。

### ● 衛生管理

- ・使用前、使用後は手指消毒を行う。
- ・使用物は使用前、使用後に消毒を行う。

### ● その他

- ・備品管理リストを作成し、持ち出した物、使用した物、使用者を把握できるようにする。
- ・スタッフは除菌シート等を携行し、使用物の消毒を常に行う。

## ■ 諸室（テント含む）への入退室

### ● 入室管理

- ・入室者を限定する。
- ・入室人数は2.25㎡(1.5m×1.5m)あたり1名を目安とし、諸室のスペース当たりの人数を設定する。

### ● 衛生管理

- ・諸室入口に消毒剤を設置し、入退室の際に手指消毒を行う。
- ・マスクを着用する。

### ● 掲示物

- ・各諸室に入退出時に手指消毒を行う旨の文書掲示を行う。

## ■ 参加者対応

- ・開催日より1週間前までの期間の健康状態等に問題のある場合(前1週間の体温変化、感染者との接触有無、体調等)は来場を見合わせていただくように告知する。

### ● 会場受付

- ・受付スタッフはマスクを装着する。
- ・総合受付テントには、手指消毒液、配布用マスクを設置する。
- ・受付待機列については距離を最低1.0m以上(2.0m以上が望ましい)を確保し待機列を作る。
- ・感染症陽性が疑われる者を発見した場合は看護師、保健所等の指示により隔離、帰宅、通院等の措置を実施する。

### ● 各競技体験会

- ・受付待機列に距離を最低1.0m以上(2.0m以上が望ましい)を確保し待機列を作る。
- ・体験開始時には検温、手指消毒の徹底を実施する。
- ・体温が37.5度以上の方は5分経って再度検温し、体温が37.5度以上の方は参加をお断りし、看護師等の指示により隔離、帰宅、通院等の措置を実施する。

### ● 観客席

- ・観客席は設けず、観戦エリアにて立ち見での観戦となる。
- ・観戦エリア内では周りの方との距離を最低 1 m以上確保するよう呼びかけ等を実施する。

## ■メディア対応・来賓対応

### ●来場制限

- ・事前取材申請の方法を取り、申請のないメディア、取材者は基本的に入場を禁止する。
- ・来賓の招待については極力行わず、招待する場合は事前に人数を確認する。

### ●受付体制

- ・マスクの徹底着用
- ・3密回避の実施
- ・衛生管理の徹底（手洗い、手指消毒、うがい等）
- ・参加する業務1週間の健康観察（体温、咳、倦怠感、他）報告
- ・受付待機列に距離を最低1.0m以上(2.0m以上が望ましい)を確保し待機列を作る。
- ・37.5度以上の体温を計測した場合には別途体温計で温度測定を行う。  
陽性が疑われる場合は入場をお断りする。
- ・会話を少なくし、記入形式の受付を極力避け、非接触型器具を用いた受付を推奨する。

### ●来場者へのお願い事項

- ・来場前に主催側で提示する項目(健康状態等)についてセルフチェックを行い、不適合項目がある場合には来場を見合わせていただく。
- ・来場時および取材時はマスクを着用していただく。
- ・受付に消毒剤を設置し、受付前に手指消毒をしていただく。

## ■ 看護体制

### ● 看護師および医療関係との調整

- ・看護師2名以上を常駐させる。
- ・港区保健所と疑陽性者発生時の対応を調整する。

### ● 設備及び用具

- ・診察スペースとは陽性が疑われる方を隔離できるスペースを別途設ける。
- ・感染症予防備品を常備する。(マスク、手袋、アルコール消毒液、等)

### ● 感染症陽性が疑われる方が発生した場合

- ・下記の2項目に該当する方が発生した場合、隔離したうえで、本人より東京都の「新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者相談センター」に連絡する。
  - > 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合。
  - > 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合。
- \* 新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者相談センター TEL : 03-5320-4592  
受付時間 : 24時間対応(土曜日、日曜日、祝日)
- ・対象者を速やかに隔離スペースへ移動させる。

## ■ トイレ・手洗い場

### ● トイレの利用方法

- ・トイレのふた閉めて汚物を流す。
- ・トイレ使用後は手洗いを行うように掲示する。

### ● 手洗い場の設備

- ・「手洗いは30秒以上」等を掲示する。

## ■ その他

- ・東京都の「イベント開催制限等について」の指針に基づき、「イベント開催時のチェックリスト」をHPにて公表する。